

試料の送付先および留意点

試料の送付先： 〒236-0003
神奈川県横浜市金沢区幸浦2-1-13
日本環境株式会社 横浜営業グループ 宛
TEL：045-780-3848

宅配便にて、保管時の温度に併せた輸送条件・午前着扱いで送付をお願いします。

送付時の留意点：

1. 梱包

梱包資材

- 1) 送付する試料にあった丈夫な段ボール箱をご用意下さい。(冷蔵便で試料を送付する場合、段ボール箱が水分を吸収して弱くなり、中の試料が潰れることがありますので丈夫な箱をご用意下さい。)
- 2) 果実等の損傷しやすい試料には緩衝材(プラスチックフォーム、エアークャップシート、フルーツパック等)を用い、分析に支障をきたす恐れのある稲わら、朶がら、ゴム類は用いないで下さい。
- 3) 一度市場流通した農作物用の段ボール箱や袋(米袋等)は、分析に影響する危険性がありますので使用しないで下さい。また、匂いのある箱(ト口箱等)も使用しないで下さい。

梱包方法

- 1) 送付いただく試料量は、500g以上となります。
- 2) 複数の食品を送付する場合、それぞれ別の梱包でお送り下さい。同一の箱に梱包した場合、他の食品を汚染する可能性があります。
- 3) 損傷しやすい試料(ももやトマト等)は重ねて梱包しないで下さい。
- 4) 葉菜類は、直接段ボール箱に入れて送付した場合、輸送中に乾燥することがありますので、紙(新聞紙も可)に包んで段ボール箱に入れるようにして下さい。
- 5) いちごやおとうなど、1個当たりの重量が小さく損傷しやすい試料では、イチゴパック等に入れてから段ボール箱にお入れ下さい。
- 6) ポリ袋、ビニール袋等は、高温時に試料が過熟または腐敗しやすい(冷蔵で輸送した場合でも結露が生じ、腐敗の原因となる可能性があります)ので使用しないで下さい。
- 7) 葉菜類を梱包する場合、「根部」に土壌が付着している場合がありますので、「葉部」と「根部」はすべて同じ向きに入れるようにして下さい。
- 8) だいこん、かぶ等は、「葉部」と「根部」に分かれます。分析を希望される部位をお送り下さい。両方分析される場合には、「葉部」と「根部」に分けて、別々に梱包して下さい。その際、薬剤の多く付着していると考えられる「葉部」から「根部」への汚染が生じないよう十分にご注意下さい。

2. 試料の送付

- 1) 発泡スチロール製の容器(箱)や防水・保冷用のアルミコートがしてある箱を使用する場合、内部の結露により、試料への水滴の付着や、箱の底に水がたまる場合がありますので、箱のふたを開けた状態で予冷を行ってからふたを閉めて送付して下さい。
- 2) 保冷剤を使用する場合には、保冷剤が試料に直接接触すると凍結しますので、接触しないようご注意ください。
- 3) 休日(土・日曜日及び祝日)の配達は、できるだけ避けて頂くようお願い致します。